

03 巻頭言

介護領域における外国人労働力の増加の影響を考える

齋藤 訓子 (さいとう・のりこ)

公益社団法人日本看護協会 副会長
立教大学法学部卒業。兵庫県立看護大学院 看護研究科修士課程修了。
2001年社団法人日本看護協会入職。2009年常任理事就任、2017年より現職。
ダイヤ高齢社会研究財団理事。

04 Dia Report

うつ予防教室終了後の自主グループ活動への参加状況と精神的健康状態の変化

安 順姫 (あん・じゅんき)

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 研究員
桜美林大学大学院卒、老年学修士。同財団で研究助手を経て、2015年より現職。
研究テーマは介護予防教室終了後の自主活動定着のための支援。財団では、「うつ予防プログラムの効果検証及び普及定着」「うつ予防教室終了後の自主グループ活動の推進」を担当。

08 フォーカス高齢社会

健康長寿社会実現に向けての挑戦

藤並 祐馬 (ふじなみ・ゆうま)

— 生涯現役・社会参加による介護予防 —

一般社団法人日本老年学的評価研究機構 事務局長
広島大学大学院国際協力研究科 (IDEC) 博士前期課程修了 (学術修士)。スマトラ沖大地震及び大津波災害や中部ジャワ大地震の災害復興支援に携わった後、独立行政法人国際協力機構の専門家としてインドネシアの保健政策改善に携わる。その後、国立研究開発法人日本医療研究開発機構を経て2018年より現職。日本評価学会認定評価士、防災士、PRINCE II Practitioner。

10 財団研究紹介

ダイヤ高齢社会研究財団・国際長寿センター共催 国際シンポジウム 高齢化先進国の日本! みんなが主役となって創る地域社会とは

佐藤 博志 (さとう・ひろし)

ダイヤ高齢社会研究財団 企画調査部 次長
東北大学 経済学部卒。1987年三菱化成工業株式会社 (当時) 入社。機能性樹脂事業部、情報電子本部記憶材料事業部、イメージングマテリアルズ事業部などで、営業、物流、事業管理業務に従事。2012年7月、三菱化学株式会社 (当時) から日東化工株式会社に出向し、樹脂営業部長。2018年9月より現職。財団では、シンポジウムの企画・運営、高齢者の生きがいや社会参加に関する調査・研究などを担当。

12 Dia Information

表紙写真について一言 「布施弁天の豆まき」と「真壁のひなまつり」

千葉県柏市に関東三大弁天のひとつ「布施弁天東海寺」があります。初詣や七五三参りで賑わい地元では「布施の弁天さま」と呼ばれ親しまれています。写真は節分の豆まきのシーンですが、これは宝物殿の前で「子どもさんだけの福豆まき」を行っているところです。ほほえましいですね。「真壁のひなまつり」は、見世倉や土蔵などが軒を連ねる歴史の町真壁の一大イベントです。約160軒の家々に、数百年前の由緒ある雛人形から現代作家のものまでさまざまなお雛さまが飾られ見ごたえ十分です。2019年は2月4日から3月3日の予定で開催されます。

※ PHOTO 448 SCHOOL : 千葉県我孫子市で写真愛好家を指導している吉羽健二郎夫妻の名前-よしば (448) -に因んでいます。